

大村市政だより

財政事情 説明書 特別号

■昭和33年4月22日第三種郵便物認可 ■毎月3回1日・10日・20日発行 ■定価1部5円
 ■発行所 大村市役所 ■編集人 総務課長 菊池綱昌 ■印刷所 大村活版所

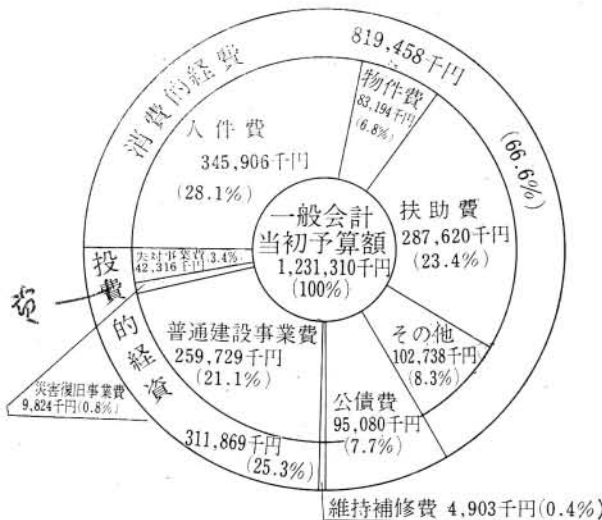
大村市告示 第73号

地方自治法第243条の第1項、並びに大村市財政事情説明書の作成および公表に関する条例第2条の定めるところにより、大村市の財政事情をつぎのとおり公表します

昭和42年6月1日

大村市長 大村 純 毅

財政事情説明書



昭和42年度一般会計当初予算のうち歳出の部を性質別に分析しますと次の図のようになります。

【まえがき】

昭和41年度の下半期と昭和42年度当初の本市の財政事情は昨今の諸物価の高騰、公共料金の値上げ及び義務的経費の増嵩など財政需要が著しく増加する反面、市税及び地方交付税など一般財源の自動的減収をよぎなくされ、本市財政の収支を一段と悪化させています。

このような財政悪化のしわ寄せをうける昭和42年度の本市財政は、さらに苦しくなることが当然予想されます。

このような状況を十分勘案し財政運営の効率化と合理化に意を用い、消費的経費については極力節減に努め、又投資的経費についても極力財源の確保に努めるとともに、あくまで健全財政を堅持しつゝ行政水準の向上に一段の努力をいたす所存でありますので今後とも市政の運営にご理解とご協力をお願いいたします。

昭和42年度一般会計当初予算 (単位千円)

歳入科目	予算額	構成比%	歳出科目	予算額	構成比%
1. 市 税	257,461	20.9	1. 議 会 費	22,927	1.8
2. 国有提供施設等所在市助成交付金	4,084	0.3	2. 総 務 費	193,036	15.7
3. 臨時地方特例交付金	1	—	3. 民 生 費	343,205	27.9
4. 地方交付税	283,550	23.0	4. 衛 生 費	50,210	4.1
5. 分担金及び負担金	15,207	1.2	5. 労 働 費	42,316	3.4
6. 使用料及び手数料	36,924	3.0	6. 農 林 水 産 業 費	110,604	9.0
7. 国庫支出金	314,775	25.6	7. 商 工 費	40,823	3.3
8. 県 支 出 金	56,390	4.6	8. 土 木 費	113,251	9.2
9. 財 産 収 入	9,465	0.8	9. 消 防 費	32,935	2.7
10. 寄 附 金	586	—	10. 教 育 費	175,949	14.3
11. 繰 入 金	1	—	11. 災 害 復 旧 費	9,824	0.8
12. 繰 越 金	1	—	12. 公 債 費	95,080	7.7
13. 諸 収 入	191,765	15.6	13. 諸 支 出 金	1	—
14. 市 債	61,100	5.0	14. 予 備 費	1,149	0.1
歳入合計	1,231,310	100	歳出合計	1,231,310	100

昭和42年度特別会計予算

(単位千円)

会 計 別	昭和42年度当初予算額	昭和41年度当初予算額	増 減 (△)
国民健康保険事業費	142,839	142,039	800
と 畜 場 費	412	456	△ 44
合 計	143,251	142,495	756

昭和41年度一般会計歳入歳出予算 (最終)

(単位千円)

歳 入 科 目	予 算 額			構 成 比 (%)	収 入 済 額
	当 初	補 正	最 終		
1. 市 税	235,816	13,262	249,078	15.1	250,962
2. 国有提供施設等所在市助成交付金	4,265	△ 181	4,084	0.2	4,084
3. 臨時地方特例交付金	1	10,600	10,601	0.6	10,601
4. 地方交付金	303,238	3,357	306,595	18.6	306,595
5. 分担金及び負担金	16,839	10,924	27,763	1.7	3,911
6. 使用料及び手数料	28,531	772	29,303	1.8	28,380
7. 国庫支出金	312,122	54,406	366,528	22.3	338,046
8. 県支出金	59,043	21,449	80,492	4.9	55,479
9. 財産収入	16,355	3,838	20,193	1.2	16,238
10. 寄附入金	7,204	△ 1,371	5,833	0.4	4,664
11. 繰入金	1	—	1	—	—
12. 繰越金	1	10,625	10,626	0.7	16,208
13. 諸収入	162,278	119,492	281,770	17.1	242,963
14. 市債	173,000	80,500	253,500	15.4	85,800
歳 入 合 計	1,318,694	327,673	1,646,367	100	1,363,931

歳 出 科 目	予 算 額			構 成 比 (%)	支 出 済 額
	当 初	補 正	最 終		
1. 議会費	22,237	145	22,382	1.4	22,058
2. 総務費	292,266	61,952	354,218	21.5	261,220
3. 民生費	322,981	28,748	351,729	21.4	344,114
4. 衛生費	40,952	14,132	55,084	3.4	43,150
5. 労働費	34,483	16,776	51,259	3.1	49,256
6. 農林水産業費	138,130	55,763	193,893	11.8	134,497
7. 商工費	38,797	1,267	40,064	2.4	39,768
8. 土木費	125,962	65,649	191,611	11.6	154,341
9. 消防費	51,300	6,419	57,719	3.5	56,804
10. 教育費	155,923	76,701	232,624	14.1	156,329
11. 災害復旧費	17,439	1,136	18,575	1.1	16,131
12. 公債費	72,546	1,491	74,037	4.5	73,698
13. 諸支出金	1	—	1	—	—
14. 予備費	5,677	△ 2,506	3,171	0.2	—
繰越	—	—	5,064	—	2,664
繰越	—	—	18,876	—	18,876
歳 出 合 計	1,318,694	327,673	1,646,367	100	1,372,906

※ この表は3月31日現在の収入済額及び支出済額であり、歳入が少ないおもな原因は国、県の補助金等の未収入で4月、5月において収入されることになっております。

昭和41年度特別会計歳入歳出予算 (最終)

(単位千円)

会 計 別	予 算 額			収 入 済 額 (A)	収 入 合 歩 %	支 出 済 額 (B)	支 出 合 歩 %	差 引 (A)-(B)
	当 初	補 正	最 終					
国民健康保険事業費	142,039	21,576	163,615	142,350	87.0	135,566	82.9	6,784
と 畜 場 費	456	154	610	600	98.4	569	93.3	31
合 計	142,495	21,730	164,225	142,950	—	136,135	—	6,815

一時借入金しらべ

(自41.10.1～至42.3.31)

借入年月日	借入先	借入金額	利率	償還年月日
41. 10. 11	企業会計(ポート)	20,000(千円)	日歩 7厘	41. 11. 8
41. 12. 5	大蔵省	40,000	日歩 1銭8厘	42. 3. 4
41. 12. 15	郵政省	40,000	"	42. 3. 15
42. 2. 10	国保基金	10,000	日歩 7厘	42. 3. 15
42. 3. 15	親和銀行	20,000	日歩 2銭2厘	42. 4. 4
42. 3. 15	十八銀行	20,000	"	42. 4. 4

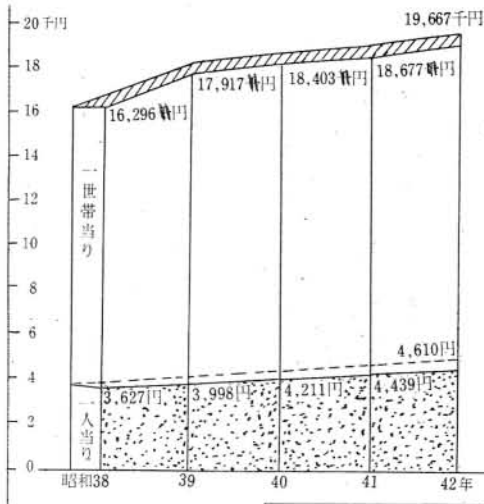
市有財産総括表

(昭和42年3月31日現在)

種別	数量	価格
1. 施設敷地	1,087,168.34㎡	253,063,458
2. 建物	84,628,00㎡	858,315,179
3. 工作物	28件	110,794,095
4. 車輛	72台	28,591,146
5. 機械器具	90台	14,583,577
6. 山林その他	5,449,386.87㎡	249,072,133
7. 基金及び積立金	3件	14,152,854
8. 出資金	11件	11,094,000
9. 財産権	1件	6,214
合計		1,539,672,656

※ 6. 山林その他には立木及び溜池、墓地、雑種地を含む。

市税の住民負担状況の推移



注 41年度・42年度は
予算額

市債の状況

目的別	昭和41年度 末現在高 (千円)	市民負担額	
		一人当り (円)	一世帯当り (円)
1. 普通債	520,748	9,325	38,900
(1) 庁舎	104,399	1,869	7,799
(2) 土木	111,035	1,988	8,294
(3) 農林水産	12,716	228	950
(4) 教養	173,261	3,102	12,942
(5) 公営住宅	35,517	636	2,653
(6) 民生	2,823	51	211
(7) 保健衛生	55,697	997	4,161
(8) 消防庁舎	16,000	287	1,195
(9) 改良住宅	9,300	167	695
2. 災害復旧債	117,212	2,099	8,756
(1) 土木	82,783	1,482	6,184
(2) 農林水産	25,063	449	1,872
(3) 文教施設	9,366	168	700
3. その他	180,074	3,224	13,451
(1) 転貸債	5,934	106	443
(2) 退職手当債	15,000	269	1,120
(3) 公有林	12,900	231	964
(4) 併存住宅	2,196	39	164
(5) 消防	7,340	131	548
(6) 市民税減税補てん債	26,704	478	1,995
(7) 市民会館建設債	110,000	1,970	8,217
合計	818,034	14,648	61,107

【あとがき】

以上で本市の昭和41年度下半期の財政状況並びに昭和42年度当初の歳入歳出予算の概要についての説明を終わりますが、今後とも本市財政の健全な運営をはかり、積極的な市勢の進展に努めてまいりたいと思っておりますので市民のみなさまにも、市財政についてなお一層のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

入院患者数(延)は前年に比べ約5パーセントの増加となっており、外来患者数(延)は前年に比べ約10パーセント減少となっておりますが、これは外来患者に対する投薬日数が従来より延びたことが主な原因と思われる。

42年度においても本市医療センターとして市民の健康増進をはかることを目標として最近の医学の進歩に対応した諸施設の整備を促進し、更に医療職員の確保をはかり医療態勢を強化して、総合病院としての機能を高度に発揮するよう推進する方針であります。

(2) 経理の状況

昭和41年度の経理の状況は別表1のとおりで、その概要はつぎのとおりであります。

損益勘定

収益的収入	250,873,991円
収益的支出	231,220,439円
差引純利益	19,653,552円

資本勘定

資本的収入	3,350,000円
資本的支出	15,375,654円
差引不足額	12,025,654円

差引不足額は当年度分損益勘定留保資金、過年度分損益勘定留保資金及び繰越利益剰余金で補てんしました。

(3) 企業債・一時借入金の現在高

昭和42年3月末の企業債および一時借入金の総額は、別表2,3のとおりであり、昭和41年度中に支払済の企業債償還利息は1,622,092円、一時借入金利息は3,176,100円でした。

(4) 予算の概要

昭和42年度当初予算は前述の経営方針に基づき計上いたしましたが予算の概要は次のとおりであります。

収益的収入	242,388千円
収益的支出	242,388千円
差 引	0千円
資本的収入	15,116千円
資本的支出	22,492千円
差引不足額	7,376千円

差引不足額は当年度分損益勘定留保資金で補てんします。

〔市営企業〕

業務状況等説明書

大村市告示 第74号

地方公営企業法第40条の2第1項の規定により、昭和41年度後期分(昭和41年10月1日から昭和42年3月31日まで)の市立病院事業市モーターボート競走事業、及び市水道事業の動向および財政事情をぎのとおり公表します。

昭和42年6月1日

大村市長 大村 純 毅



(1) 事業の概況

昭和41年度事業としましては懸案のレントゲン室の増築を行ない、撮影室及び透視室の拡充整備並びにレントゲン装置の高度化により診療効率の向上をはかり、更に各種医療器械の整備により科学的検査及び治療設備を充実して診療効果の迅速化を促進するとともにベット及び床頭台を更新して患者の利便をはかつております。

入院・外来・患者数 調剤数(単位剤)

区分	本 院			三浦診療所	区 分	調 剤 数
	入院患者 延人員	外来患者 延人員	外来患者 延人員	外 来 患 者 延 人 員		
10月	7,758(人)	7,215(人)		459(人)	10月	11,564
11月	7,116	6,804		334	11月	11,300
12月	6,910	7,139		403	12月	11,840
1月	6,965	5,767		367	1月	10,468
2月	6,658	6,336		276	2月	10,940
3月	6,913	6,929		267	3月	12,157
計	42,320	40,190		2,106	計	68,269
一日平均	233	273		14	一日平均	421

(別表1)

経理の状況

(昭和42年3月31日現在) (単位千円)

区 分	予 算				合 計	予 行 算 額	
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額			
収益的収入	才1款病院事業収益	203,293	31,937	—	—	235,230	250,874
	才1項医業収益	201,838	31,790	—	—	233,628	248,664
	才2項医業外収益	1,455	147	—	—	1,602	2,210
	合 計	203,293	31,937	—	—	235,230	250,874
収益的支出	才1款病院事業費用	203,293	31,937	—	—	235,230	231,220
	才1項医業費用	196,919	31,831	331	—	229,081	225,184
	才2項医業外費用	6,137	—	—	—	6,137	6,036
	才3項予備費	237	106	△ 331	—	12	—
合 計	203,293	31,937	—	—	235,230	231,220	
期間外支出	才1款期間外費用	—	2,314	—	—	2,314	2,314
	才1項期間外費用	—	2,314	—	—	2,314	2,314
資本的収入	才1款資本的収入	3,352	—	—	—	3,352	3,350
	才1項他会計からの補助金	3,250	—	—	—	3,250	3,250
	才2項固定資産売却代金	100	—	—	—	100	100
	才3項国庫補助金	1	—	—	—	1	—
	才4項他会計からの長期借入金	1	—	—	—	1	—
合 計	3,352	—	—	—	3,352	3,350	
資本的支出	才1款資本的支出	10,814	4,564	—	—	15,378	15,376
	才1項建設改良費	6,981	4,559	—	—	11,540	11,539
	才2項企業債償還金	3,832	—	—	—	3,832	3,832
	才3項他会計からの長期借入金償還	1	—	—	—	1	—
	才4項投資	—	5	—	—	5	5
合 計	10,814	4,564	—	—	15,378	15,376	

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 12,026千円は当年度分損益勘定留保資金 6,533千円過年度分損益勘定留保資金222千円及び繰越利益剰余金 5,271千円で補てんした。

(別表2)

企業債明細書

(昭和42年3月31日現在) (単位千円)

起債目的	借入先	発行年月日	発行総額	償 還 高		未償還高	利 率	償還終期
				当年度償還高	償還高累計			
病院建設費	郵政省	30. 5. 24	22,000	1,753	11,334	10,666	年6分5厘	47. 3. 31
" "	" "	31. 3. 31	1,200	148	1,043	157	" "	43. 3. 31
" "	" "	31. 4. 27	7,400	911	6,434	966	" "	43. 3. 31
" "	大蔵省	31. 7. 30	10,000	714	4,613	5,387	" "	48. 3. 31
看護婦寄宿舎建設費	郵政省	32. 3. 30	2,000	152	1,082	918	年6分3厘	47. 3. 31
医師住宅建設費	大蔵省	33. 3. 31	5,000	154	996	4,004	年6分5厘	57. 2. 1
合 計			47,600	3,832	25,502	22,098		

(別表3)

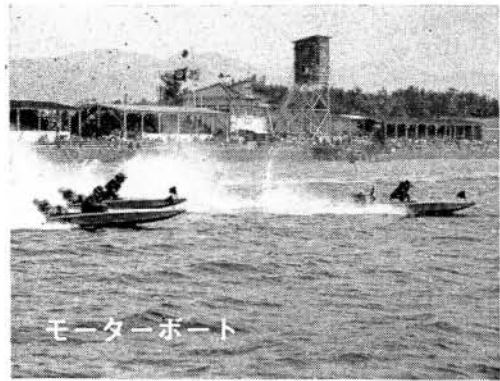
一時借入金明細書

(単位千円)

前年度末残高	本年度中における借入残高最高額	本年度末残高	備 考
50,000	55,000	45,000	借入先 (株)親和銀行大村支店 (株)十八銀行大村支店 借入限度額 55,000

益金使途しらべ (単位千円)

41年度末益金	繰出金	留保資金
減積積立資金 30,190千円、建設改良積立資金 3,660千円を除き、前年度繰越金 13,844千円を含む	一般会計 164,500 市立病院会計 3,250 長期貸付金 水道事業会計 5,390	
183,757	167,750 5,390	10,617



モーターボート

(2) 経理の状況

経理の状況は別表1のとおりですが、他会計への繰出金も前期とあわせ一般会計へ 164,500千円市立病院事業会計へ 3,250千円の合計 167,750千円を支出し、市の財政に貢献することができました

(3) 企業債および一時借入金の現在高

防波堤工事並びに千円券発売所新築工事など施設改善の資金として、当年度 75,000千円の企業債を借入れ、その中 20,000千円は返済し、年度末残高 55,000千円となりました。なお、一時借入金はありません。

(1) 事業の概況

モーターボート競走事業は、昭和41年度も順調な発展をとげ年間開催回数も 144回 の完全実施ができ、1日平均売上げは 12,406,315円で 前年度 8,227,756円にくらべ51パーセント増の実績を上げることができました。

また、懸案でありました防波堤工事も前年度に引続いて2期工事に着手し、当年度で完成いたしました。

(別表1)

経理の状況

(単位千円)

区 分	予 算 額				合 計	予算執行額	
	当初予算額	補正予算額	予備費充当額	費目流用額			
収益的収入	才1款 モーターボート事業収益	1,260,161	644,511	—	—	1,904,672	1,893,855
	才1項 営 業 収 益	1,258,439	643,959	—	—	1,902,398	1,891,027
	才2項 営 業 外 収 益	1,722	552	—	—	2,274	2,828
	合 計	1,260,161	644,511	—	—	1,904,672	1,893,855
収益的支出	才1款 モーターボート事業費用	1,175,649	532,041	—	—	1,707,690	1,690,092
	才1項 営 業 費 用	1,172,579	532,937	145	—	1,705,661	1,689,226
	才2項 営 業 外 費 用	1,570	△ 660	—	—	910	866
	才3項 予 備 費	1,500	△ 236	△ 145	—	1,119	—
合 計	1,175,649	532,041	—	—	1,707,690	1,690,092	
差引当年度利益剰余金		84,512	112,470			196,982	203,763
資本的収入	才1款 資 本 的 収 入	17,179	58,100	—	—	75,279	75,256
	才1項 企 業 債	17,000	58,000	—	—	75,000	75,000
	才2項 固 定 資 産 売 却 代 金	179	100	—	—	279	256
	合 計	17,179	58,100	—	—	75,279	75,256
資本的支出	才1款 資 本 的 支 出	110,146	176,431	—	—	286,577	285,509
	才1項 建 設 改 良 費	29,696	63,541	—	—	93,237	92,369
	才2項 貸 付 金	80,250	87,500	—	—	167,750	167,750
	才3項 予 備 費	200	—	—	—	200	—
	才4項 投 資	—	5,390	—	—	5,390	5,390
	才5項 企 業 債 償 還 金	—	20,000	—	—	20,000	20,000
合 計	110,146	176,431	—	—	286,577	285,509	

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 210,253千円は過年度分損益勘定留保資金 5,528千円、当年度分損益勘定留保資金 7,925千円繰越利益剰余金 13,844千円及び当年度利益剰余金 182,956千円で補てんした。

月別売上しらべ

(単位千円)

10月	147,859	1月	157,533
11月	125,108	2月	174,815
12月	134,816	3月	171,802

建設改良工事

(単位千円)

工 事 名	金 額
舟券投票所(千円券発売所)新築工事	3,290
投票所下屋増築工事	460
木工機械室及び木材倉庫下屋	300
防波堤(西側)新設工事	25,877
“(北側)”	49,300
防波堤保安灯	885

(4) 予算の概要

昭和42年度予算では一日平均売上を12,500千円にして、収益を1,870,811千円とし、そのうち1,709,914千円の費用がいますので、差引利益160,897千円を見込み、繰出金は145,000千円を計上しました。資本的収入及び支出の部では、収入は33,515千円(うち企業債33,200千円)、支出は、202,168千円で、おもなものは前記繰出金145,000千円、建設改良費として、レースコース海底浚渫及び海岸の一部埋立ほか38,218千円、企業債償還金18,750千円を予定しております。

なお、収入が支出に不足する額168,653千円は繰越及び当年度利益剰余金、当年度損益期定番保資金等の内部留保資金を充てることにしています

運営につきましては常に効率的な維持管理に意を用い、健全なる経営に努力しております。しかしながら本年は一部時間的に給水量増加による減断水状態の地区が現れ、今後更に増大する傾向が予想されますので、これを解消するため第5回拡張事業計画(工事費2億円)を樹立し議会の議決を得、更にさる2月8日厚生大臣の認可を得ましたので昭和42年度から3カ年間の計画で着工の予定です。この事業工事完成によって市内の給水区域についてはどここの場所でも平均した水圧で豊富に浄水を供給できることとなります。

現在の行政区内の給水戸数は、3月末日現在で7,708戸となり前年に比して451戸の増加でその普及率は63.9パーセントであります。

(2) 経理の状況

後期の経理については別表1のとおりです。

(3) 企業債・一時借入金の現在高

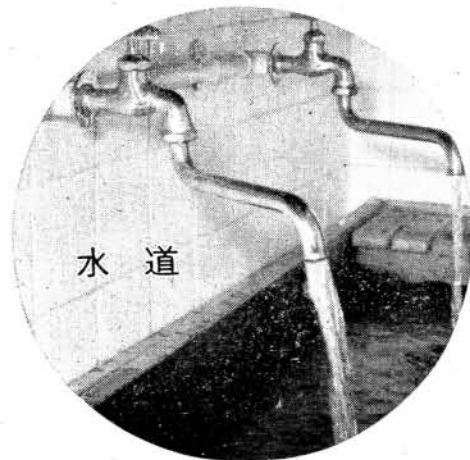
昭和42年3月末日の企業債及び一時借入金の総額は別表2.3のとおりです。

(4) 予算の概要

昭和42年度の予算の概要は次のとおりです。

収益的収入	66,277千円
収益的支出	66,277千円
差引	0千円
資本的収入	4,002千円
資本的支出	10,303千円
差引不足額	6,301千円

差引不足額は当年度分損益勘定留保金で補てんします。



(1) 事業の概況

水道事業は、住民の日常生活と公衆衛生の向上にともなつて、その役割は市政の発展とともにますます重要なものとなっております。

この重要な水道事業は、地方公営業法の規定により水道料金によって企業として独立した経営がなされております。

給水関係工事

(単位件)

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新設工事	34	47	26	21	30	21	179
増設変更工事	34	33	29	21	40	44	201
修繕工事	45	95	83	304	75	135	737
漏水工事	185	152	155	946	59	133	1,630
その他布設替 臨	4	4	3	1	3	2	17
計	302	331	296	1,293	207	335	2,764

配水量表 (単位立方メートル)

区分	配水量	一日平均配水量
10月	202,718	6,539
11月	188,634	6,256
12月	195,185	6,296
1月	208,203	6,716
2月	191,669	6,845
3月	210,898	6,803
計	1,197,307	6,579

建設改良工事 (単位千円)

工事名	工事費	着工年月日	竣工年月日
3号ポンプ所柵及び整地工事	350	42. 2.13	42. 3.20
松原ポンプ所柵地盤カサ上工事	800	42. 2.13	42. 3.25
宮小路34号国道配水管布設替工事	1,963	41. 6.15	41.10.31
新城地区配水管布設工事	120	41.11. 1	41.11.30
西小路配水管布設工事	878	42. 1.10	42. 2.10
原口地区	1,094	42. 1.10	42. 2.10
植松～池田	783	42. 2.10	42. 3.31
玖島中学校線	4,125	41.12.28	42. 3.20

(別表1)

経理の状況

(単位千円)

区分	算 算 額				予 算 額	予 算 額	
	当初予算額	追加増減額	予備費充用額	費目流用額			
収益的収入	才1款水道事業収益	66,011	—	—	—	66,011	63,616
	才1項営業収益	56,117	—	—	—	56,117	54,135
	才2項営業外収益	9,894	—	—	—	9,894	9,481
収益的支出	才1款水道事業費用	66,011	—	—	—	66,011	62,155
	才1項営業費用	57,083	1,800	86	—	58,969	55,523
	才2項営業外費用	6,928	—	—	—	6,928	6,632
	才3項予備費	2,000	△1,800	△86	—	114	—
資本的収入	才1款資本的収入	4,002	5,987	—	—	9,989	9,487
	才1項固定資産売却代金	1	—	—	—	1	—
	才2項寄附金	1	—	—	—	1	—
	才3項償還当り収入	4,000	—	—	—	4,000	3,500
	才4項他会計からの長期借入金	—	5,390	—	—	5,390	5,390
才5項工事負担金	—	597	—	—	597	597	
資本的支出	才1款資本的支出	13,093	5,987	—	—	19,080	18,142
	才1項建設改良費	8,185	5,987	—	—	14,172	13,739
	才2項企業債償還金	4,208	—	—	—	4,208	4,207
	才3項投資費	200	—	—	—	200	196
才4項予備費	500	—	—	—	500	—	

(別表2)

企業明細書

(単位千円)

起債目的	借入先	発行年月日	発行総額	償 還 高		未償還高	発行価格	利率	償還終期
				当年度償還高	償還高累計				
建設改良費	大蔵省資金部	23. 6.30	700	72	700	—	700	年7分	42. 3. 1
		28. 3.31	10,000	1,150	8,774	1,226	10,000	年6分5厘	43. 3. 1
		36.10.30	20,000	468	2,070	17,930	20,000	年6分5厘	61. 2. 1
		37. 5.31	62,000	1,362	4,963	57,037	62,000	年6分5厘	62. 2. 1
	公営企業金融公庫	37. 5.31	15,000	1,154	3,462	11,538	15,000	年7分4厘	52. 3. 20

(別表3)

一時借入金明細書

(単位千円)

前年度末残高	本年度中における借入残高最高額	本年度末残高	備 考
13,000	14,000	14,000	借入先 (株) 親和銀行大村支店 借入限度額 14,000